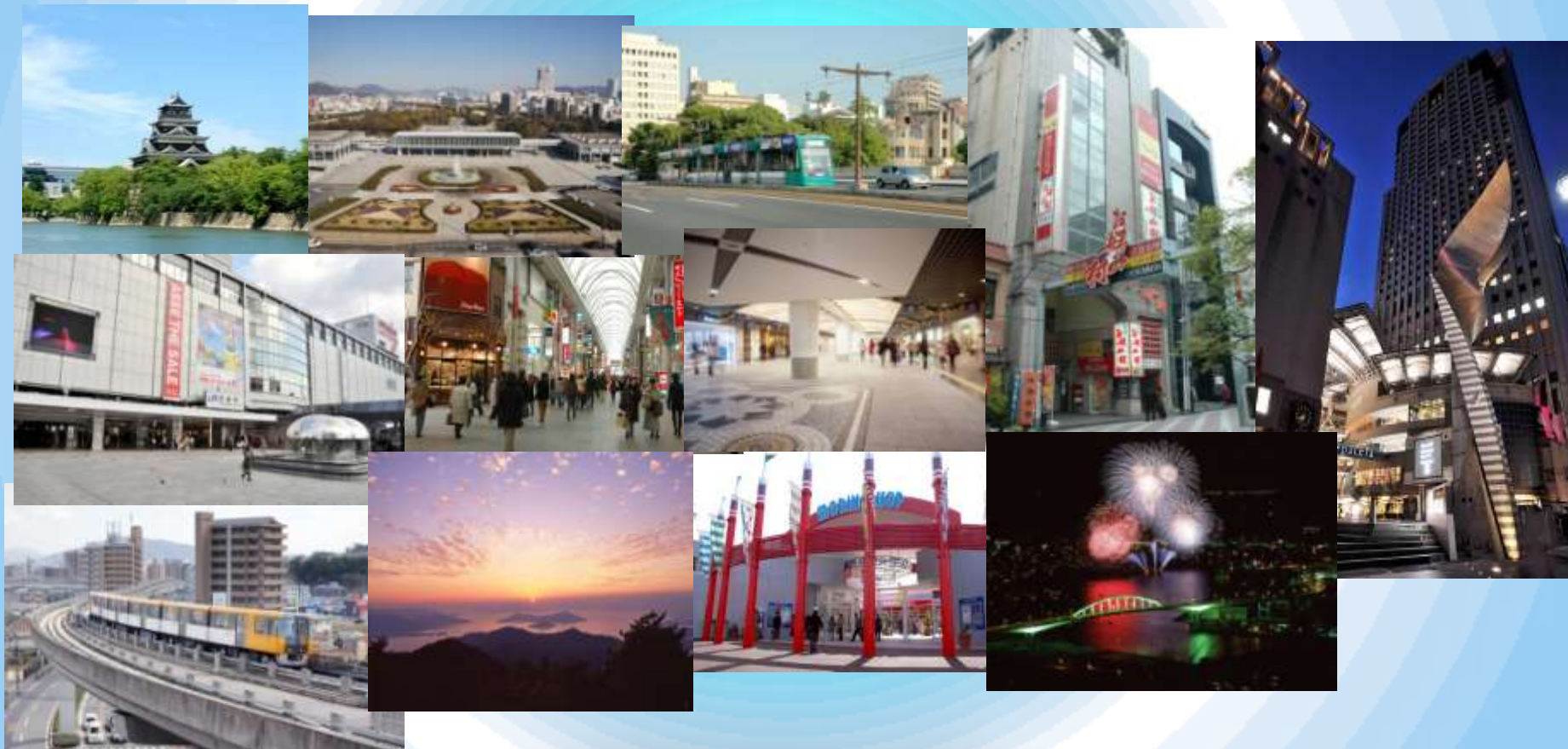


平成23年度広島市 I R 資料



平成23年10月

目 次

いま		(予算・決算等の状況)	
(広島の現在)			
市の概要	1	平成23年度当初予算	28
魅力ある地域資源	2	決算収支の推移と平成22年度決算	29
住んでよい街	3	市税収入決算の推移	30
訪ねてよい街	4	財政調整基金残高の推移	31
ザ・広島ブランド	5	一般会計市債残高の推移	32
住んでよく、訪ねてよい、千客万来の都市	6		
まち		(広島市の財政の現状分析)	
(未来に向けた都市づくり)			
市長の所信表明	7	健全化判断比率の状況	33
活力にあふれにぎわいのあるまち	9	プライマリーバランスの推移	34
ワーク・ライフ・バランスのまち	22	広島市の財務書類4表	35
平和への思いを共有するまち	23		
(行財政改革への取組み)		(広島市債について)	
広島市の行財政改革	24	市債の紹介	39
「今後の財政運営方針」の進捗状況	25	起債運営方針	40
行財政改革の推進	26	発行計画	41
「中期財政収支見通し」	27		

市の概要

いま
～広島の現在～

- 人口 1,177,470人（19政令市中第10位）
（平成23年8月1日推計人口）
- 面積 905.41 km²（19政令市中第4位）
（平成22年年10月1日現在）
- 気象 平均気温16.6℃ 年間降水量1,586mm
いわゆる「瀬戸内気候区」に属している。



広島四季



略年表

- 明治22年 市制施行
- 昭和20年 原子爆弾により壊滅
- 昭和24年 「広島平和記念都市建設法」公布
- 昭和55年 政令指定都市広島誕生
- 昭和60年 人口100万人突破
- 平成元年 市制施行100周年
- 平成6年 第12回アジア競技大会広島開催
- 平成17年 湯来町編入合併
- 平成21年 (新)広島市民球場開設
- 平成22年 政令指定都市移行30周年
- 平成23年 松井市長就任

魅力ある地域資源

いま
～広島の現在～

広島ビッグアーチ



ひろしま西風新都



湯来ロッジ



ひろしまドリミネーション



ひろしまフラワーフェスティバル



平和記念公園



広島みなと
夢
花火大会



不動院金堂(国宝)



MAZDA Zoom-Zoomスタジアム 広島



住んでよい街

いま
～広島の現在～

■ 安心して住める街

全国805都市を対象に、

「老後・病気」「教育」「生命・財産」「経済力」
の項目で「ベストシティ」を厳選！

〔「週刊ダイヤモンド」誌、平成19年8月11・18日合併号〕

■ 次世代育成支援「行動計画」進捗ランキング

政令市・中核市51都市を対象に、
「保育園定員」「待機児童数」「放課後プレイ
スクール」「休日保育」「病児・病後児保育」
などの指標で、分析・評価！

〔NPO法人エガリテ大手前、平成21年5月29日発表〕

広島市は、**政令市 第1位** (全国 33位)

広島市は、**総合ランキング 第1位**

■ 大学等進学率

広島市は**66.2%**

政令市平均**57.8%**

(平成20年5月1日)

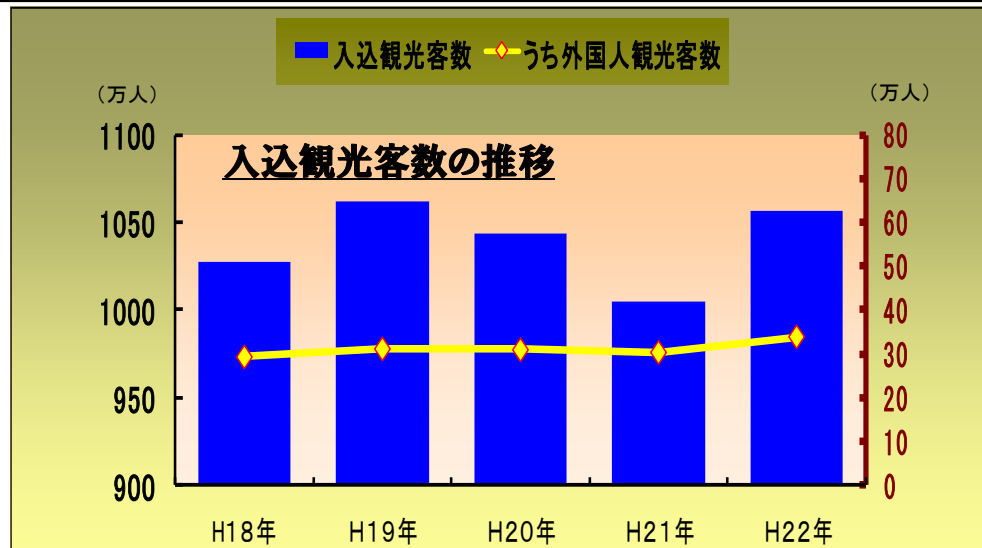
広島市は、
政令市 第2位

広島市立大学



訪ねてよい街

■ 入込観光客数 1,057万1,000人(うち外国人観光客33万9,000人) (平成22年)
6年連続で1,000万人超、うち外国人観光客数も4年連続30万人超



平成24年1月からのNHK大河ドラマが「平清盛」に決定！

平成23年5月18日 大河ドラマ「平清盛」
広島県推進協議会を設立



推進協議会
キャラクター

原爆ドーム



厳島神社(廿日市市)



The Hiroshima Brand

ザ・広島ブランド

広島市
認定

いま
～広島の現在～

■ 広島の特産品で特に優れた食品・工芸品等を認定し、全国に向けてPR
平成19年度に創設し、現在、50品を認定

味わいの一品

〔農水産物〕



〔加工品・惣菜〕



〔調味料〕



〔酒〕



〔菓子〕



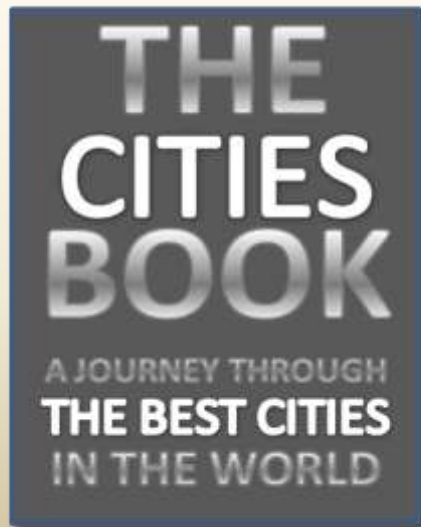
匠の銘品



住んでよく、訪ねてよい、千客万来の都市

■ 魅力ある都市「広島」

世界のトップ200にランクイン



日本では
東京
京都
広島

の3都市のみ

THE CITIES BOOK
(発行: lonely planet社)



このように、広島市は四季の表情が豊かで、
暮らしやすい環境にある都市です。

自らの使命

広島を世界に 誇れる「まち」に

そのために、「**対話・ビジョン・実行**」によって市政に活力を生み出したい

「対話」

広島「秘めたる力」を引き出す一連の対応や行動

「ビジョン」

夢であると同時に展望であり、それは実現するためのもの

「実行」

ビジョンを大切にしながらも、今置かれた状況に真剣に向き合うこと

「実行」＝選択と集中により確実に政策の実現を図る。

主要施策の概要

《3つの柱》

「活力にあふれにぎわいのあるまち」への取組

「ワーク・ライフ・バランスのまち」への取組

「平和への思いを共有するまち」への取組

ひろしま都心ビジョン

■ みんなで創る都心の未来

平成17年2月策定
平成23年3月更新

目 標

人を魅きつける広島のと心づくり

目標年次

2030年 都心の将来イメージ

魅力ある都心づくりの基本方向

- 1 「行きよい」都心づくり
- 2 「歩きやすい」都心づくり
- 3 「にぎわい・交流する」都心づくり
- 4 「居心地よい」都心づくり
- 5 「住みよい」都心づくり



活力にあふれにぎわいのあるまち ~未来に向けた都市づくり~

ひろしま都心ビジョンの対象区域と重点地区

拡大都心核
(紙屋町・八丁堀地区)

広島市の都心

新都心成長点
(広島駅周辺地区)



活力にあふれにぎわいのあるまち

~未来に向けた都市づくり~

広島駅周辺の整備

■二葉の里
土地区画整理事業

■広島駅自由通路及び新幹線口
ペデストリアンデッキ

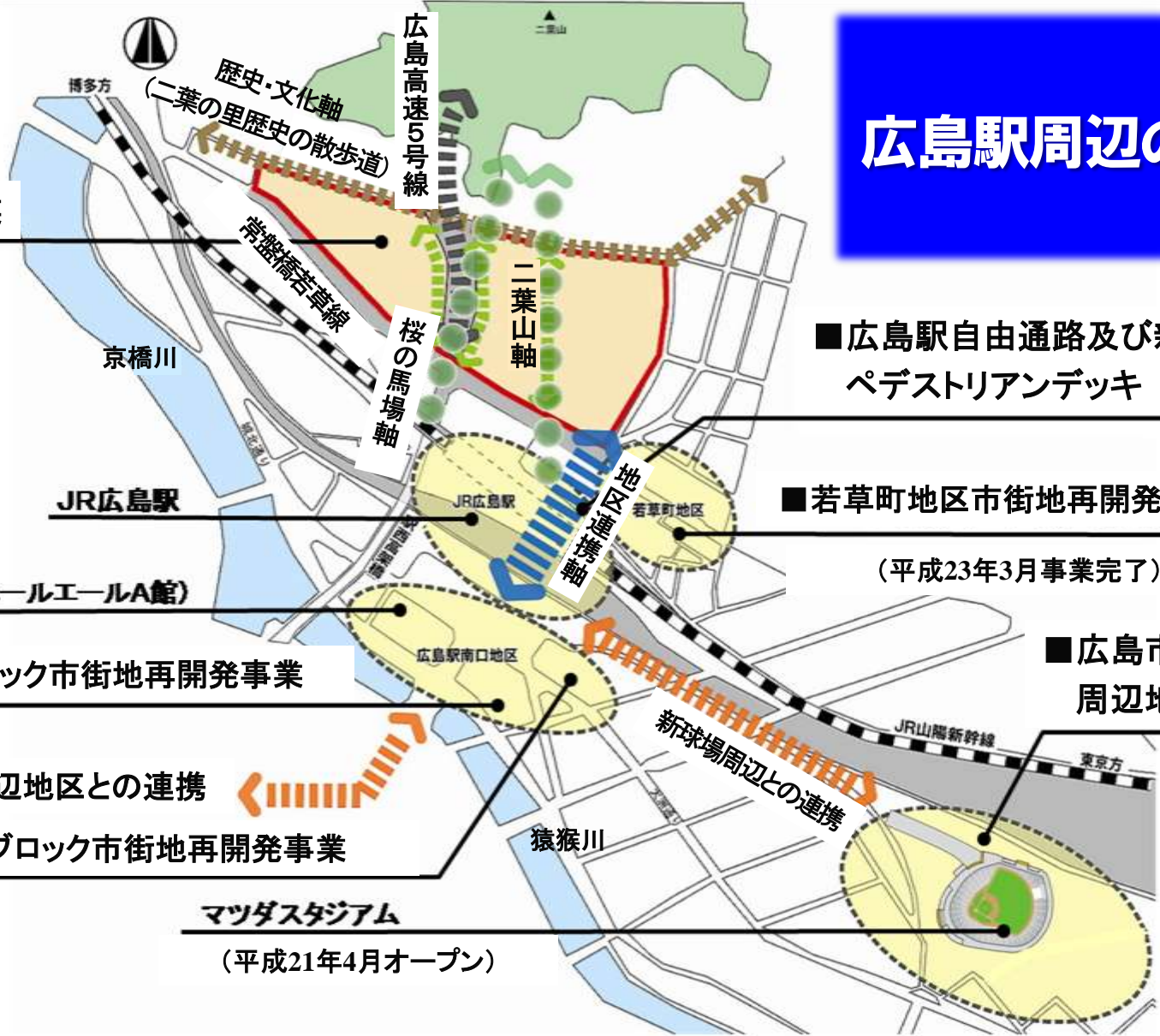
■若草町地区市街地再開発事業
(平成23年3月事業完了)

■広島市民球場
周辺地区開発

■南口Aブロック(エールエールA館)
■南口Bブロック市街地再開発事業

紙屋町・八丁堀周辺地区との連携
■南口Cブロック市街地再開発事業

マツダスタジアム
(平成21年4月オープン)

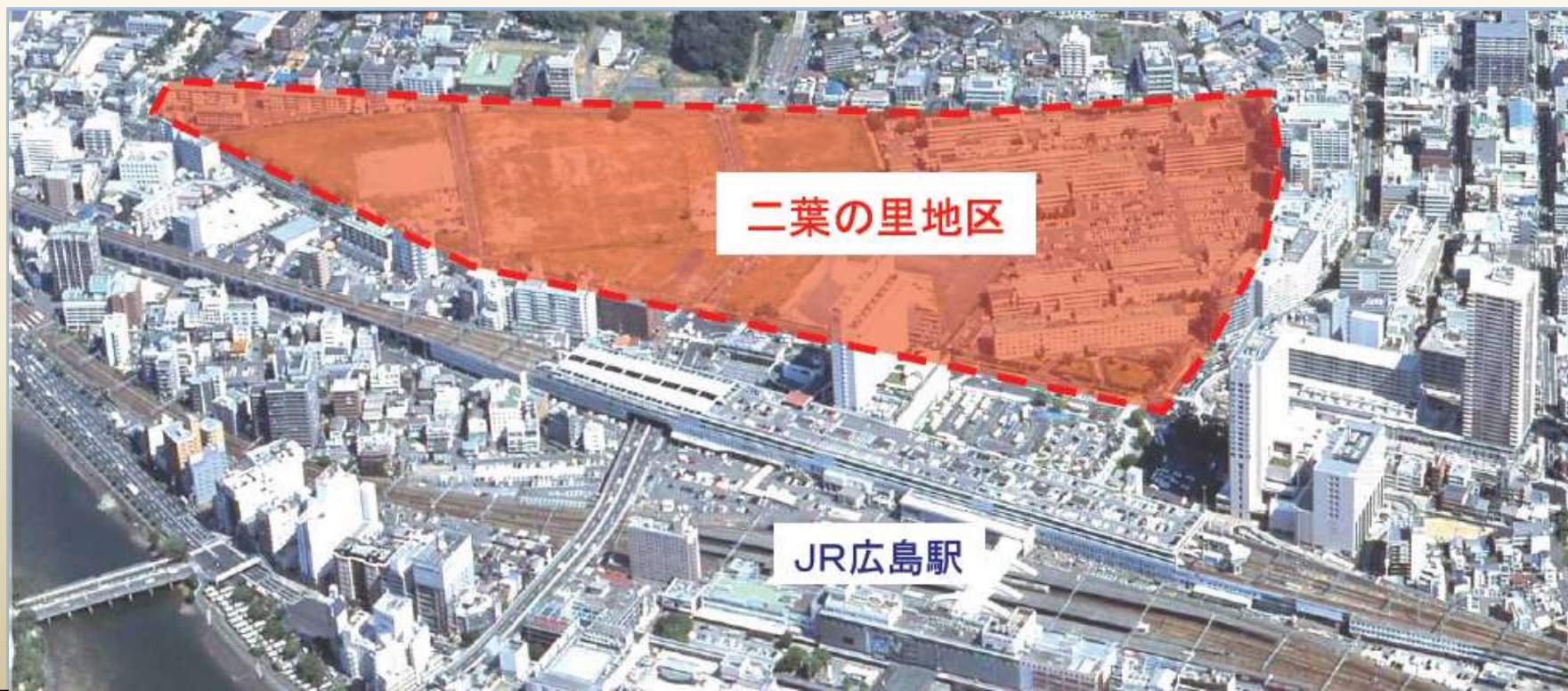


活力にあふれにぎわいのあるまち

二葉の里土地区画整理事業

- 未利用国有地を中心とした地区について、土地区画整理事業により都市基盤整備を行うとともに、民間主体の計画的な開発の誘導を図る。

施行者	独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）
施行地区面積	約13.8ha
施行期間	平成22年度～平成30年度（清算期間 5年を含む。）
総事業費	51億 9千万円



活力にあふれにぎわいのあるまち ~未来に向けた都市づくり~

広島駅南口Bブロック市街地再開発事業

- 建物の不燃化と土地の高度利用により、都市機能を更新するとともに、商業・業務機能の集積及び都心居住の推進を図り、陸の玄関にふさわしい地区に再生する。



猿猴川右岸から
広島駅方面を望む

■ 計画概要

- ・ 区域面積 約1.4ha
- ・ 延床面積 約12万500㎡
- | |
|---------------|
| 西棟(住宅、店舗、事務所) |
| 約8万9,800㎡ |
| 東棟(店舗、駐車場) |
| 約3万700㎡ |
- ・ 主な導入機能
住宅、商業施設、業務施設、
駐車場
- ・ 事業費 約340億円

(平成23年8月の事業計画 変更認可時点の完成予想図: 広島駅南口Bブロック市街地再開発組合作成)

活力にあふれにぎわいのあるまち ~未来に向けた都市づくり~

広島駅南口Cブロック市街地再開発事業

- 建物の不燃化と土地の高度利用により、都市機能を更新するとともに、商業機能の集積及び都心居住の推進を図り、陸の玄関にふさわしい地区に再生する。



住宅棟

商業施設棟

広島駅南口からマツダスタジアム方面を望む

- 計画概要
 - ・ 区域面積 約1.9ha
 - ・ 延床面積 約9万9,900㎡
 - ・ 主な導入機能
 - 商業施設、住宅、駐車場
 - ・ 事業費 約238億円
(概算事業費。公共施設管理者負担金を除く。)

(平成23年4月の都市計画決定時点の完成予想図：広島駅南口Cブロック市街地再開発準備組作成)

活力にあふれにぎわいのあるまち ~未来に向けた都市づくり~

広島駅自由 通路等の整備

ペDESTリアンデッキ(若草ビル間)H22整備

JR西日本広島支社

新幹線口広場
面積：約13,300㎡

若草町再開発ビル

常盤橋若草線

若草町再開発ビル

ホテルグランヴィア

新幹線口広場

新幹線駅ビル

橋上駅

自由通路

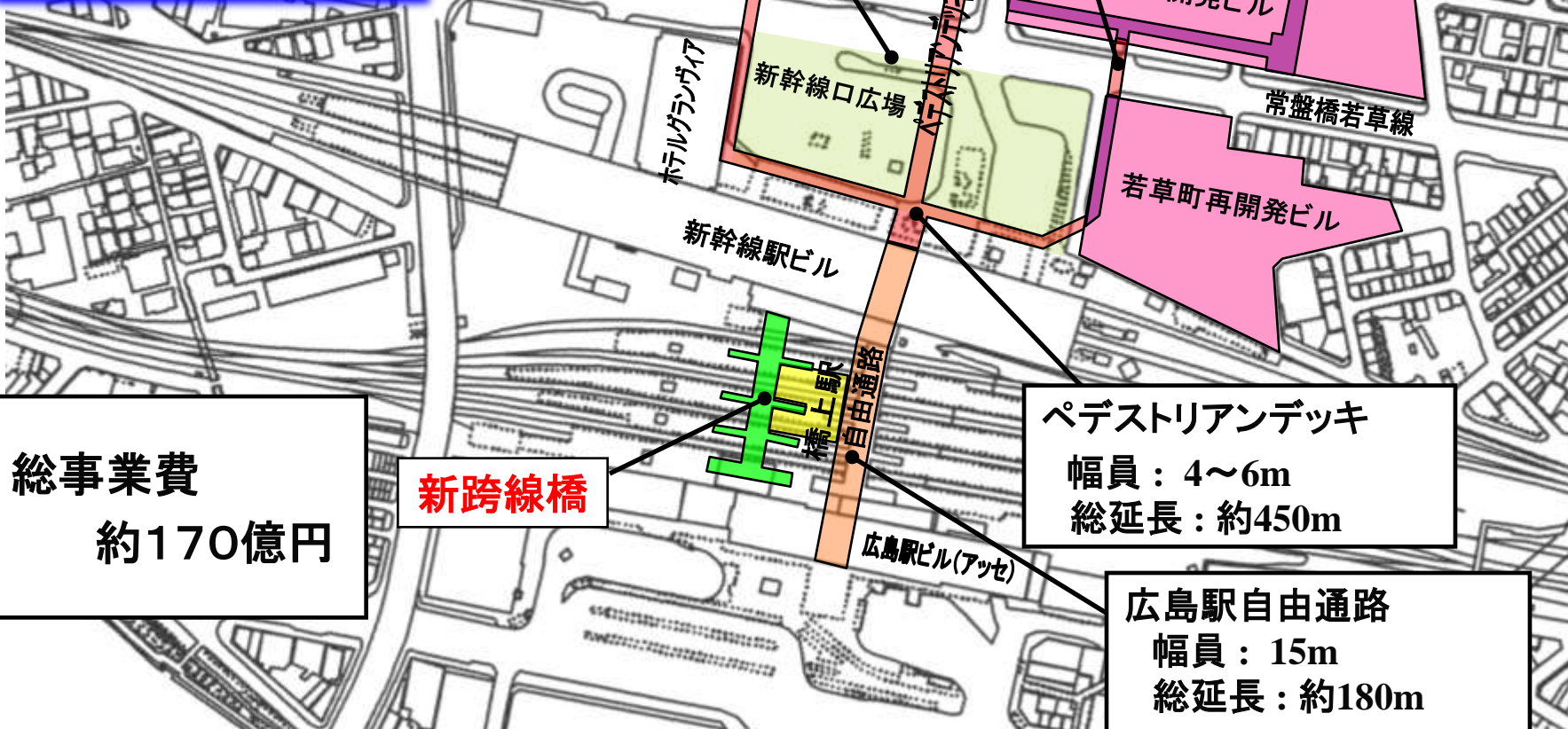
広島駅ビル(アッセ)

ペDESTリアンデッキ
幅員：4~6m
総延長：約450m

総事業費
約170億円

新跨線橋

広島駅自由通路
幅員：15m
総延長：約180m



広島ボールパークタウン整備事業 [全体計画]



スポーツの感動があふれる街
球場とともに進化する街
Hiroshima Ball Park Town

【計画の概要】

- 広島市の財産であるマツダスタジアム(ボールパーク)を核とし、「スポーツの感動があふれる街」「球場とともに進化する街」を創出するために、様々なシチュエーションを満喫できる「エンタテインメント施設」と多機能型「ライフスタイル施設」を有機的に繋いだ、広島の新たなる顔となる街く広島ボールパークタウンを実現します。
- 「スポーツ」をテーマに様々な施設が集積、みんなが楽しめる広島の情報発信拠点として新たな価値を創造し、広島と中国地方の未来を地域・球団等と共に創っていきます。

【事業手法】

- 三井不動産グループにて、土地を取得し、A地区及びB地区施設全体の事業プロデュースを行います。

【整備手法】

- B地区を先行して整備し、A地区は5年以内を目処に事業化を図る段階的整備を行います。



【事業スケジュール】

地区	2017年度		2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				2022年度																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
B地区 マスター工程	基本計画(案)提出・承認																																		
	土地売買契約																																		
	所有権移転																																		
大型スポーツクラブ (ビルテナント)	確認申請																																		
	工期(10ヶ月予定) → オープン																																		
短広域大型商業施設 (コストコ)	確認申請																																		
	工期(12ヶ月予定) → オープン																																		
分譲住宅 (三井不動産レジデンシャル)	確認申請																																		
	工期(20ヶ月予定) → 竣工																																		
A地区 マスター工程	事業計画策定期間																																		
	基本計画(案) GRAND OPENING 提出(予定)																																		

※事業スケジュールは現在の想定であり、関係法令等・関係諸官庁協議・土壌改良・近隣協議等により変更となる可能性があります。



鳥瞰イメージパース

活力にあふれにぎわいのあるまち ~未来に向けた都市づくり~

若草町地区市街地再開発事業

- 業務、商業、都心居住などの複合機能の導入を図り、活気とにぎわいに満ちた空間を創出するとともに、市営若草住宅の建替により遊休化した土地の有効活用を図り、安全・安心のまちづくりを進める。

平成23年3月 事業完了



タワー住宅棟

ホテル・ビジネス棟

マツダ スタジアム

テラス住宅棟

広島駅

広島駅新幹線口広場

■ 施行概要

- ・ 区域面積
約2.9ha
- ・ 延床面積
約9万5,600㎡
- ホテル・ビジネス棟
約4万8,400㎡
 - テラス住宅棟
約1万8,400㎡
 - タワー住宅棟
約2万8,800㎡
- ・ 主な導入機能
ホテル、業務施設、
分譲・賃貸住宅、
商業施設、駐車場
- ・ 事業費
約328億円

活力にあふれにぎわいのあるまち

旧広島市民球場跡地の活用

- 旧広島市民球場跡地を含む紙屋町・八丁堀地区は、広島駅周辺地区とともに、本市の活性化を図る上で重要な拠点となる地区であり、より一層魅力を高めることが必要。

■ 方向性

若者を中心とした「にぎわい」のための場

■ 今後の予定

今後1年半程度かけて市民等から広く意見を聴くため、経済界、商店街、若者などで構成する委員会を設置し、跡地の活用方策を検討

平成25年 春

旧広島市民球場跡地などを会場とした第26回全国菓子大博覧会の開催

活力にあふれにぎわいのあるまち

～未来に向けた都市づくり～

ひろしま菓子博²⁰¹³

世界とどけ! 笑顔をもすぶお菓子のちから



ファミリープールエリア



全国お菓子めぐり館



メインゲート



お菓子のテーマ館 &
お菓子美術館



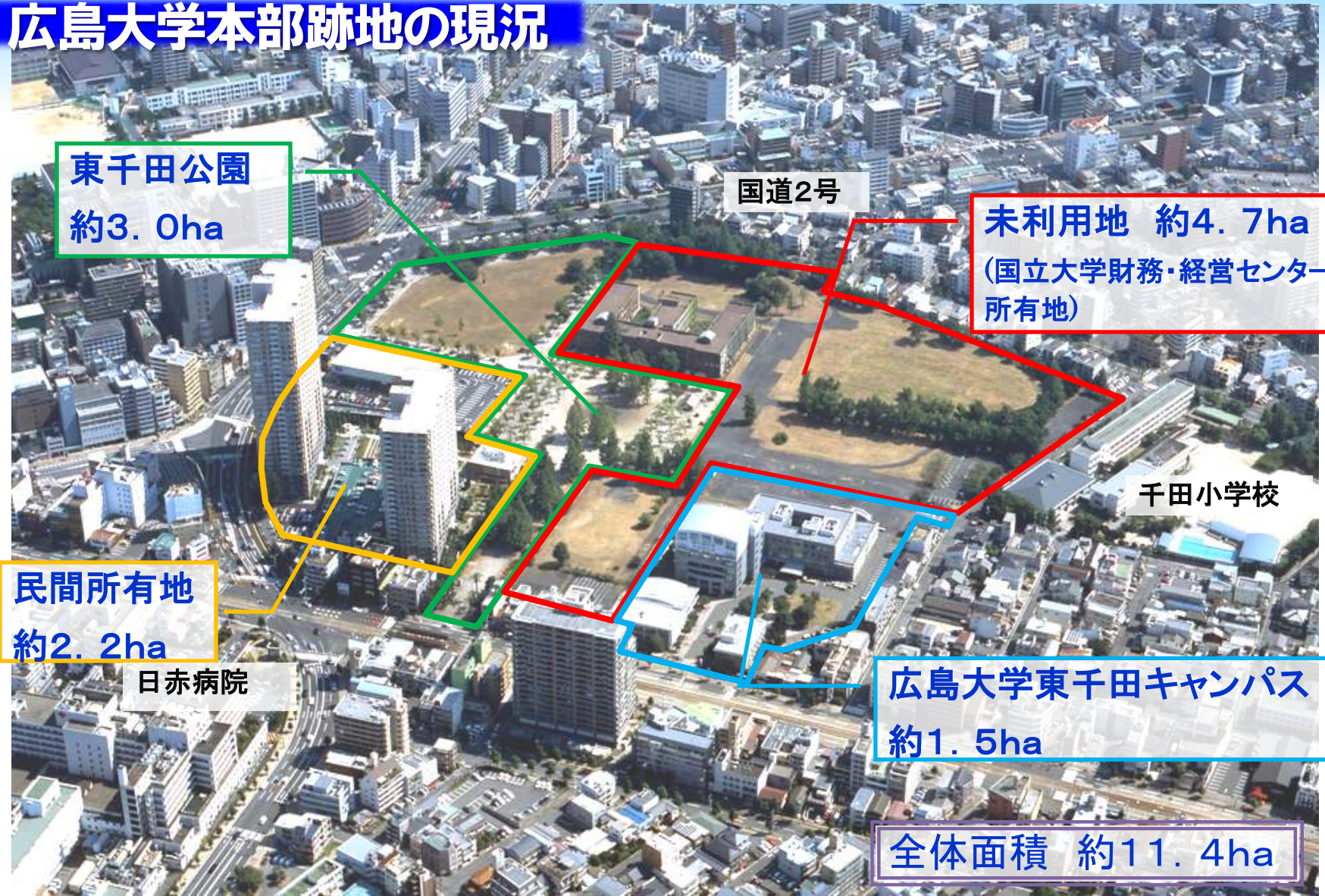
お菓子の学校



夢のお菓子ランド

開催期間：平成25年4月19日(金)～5月12日(日) 場所：旧広島市民球場跡地、広島県立総合体育館及びその周辺
主催：第26回全国菓子大博覧会・広島実行委員会(広島県菓子工業組合、広島県、広島市、広島商工会議所 外)

広島大学本部跡地の現況



東千田公園
約3.0ha

国道2号

未利用地 約4.7ha
(国立大学財務・経営センター
所有地)

千田小学校

民間所有地
約2.2ha

日赤病院

広島大学東千田キャンパス
約1.5ha

全体面積 約11.4ha

活力にあふれにぎわいのあるまち ~未来に向けた都市づくり~

ひろしま「知の拠点」再生プロジェクト(仮称)

事業スキーム案における
土地利用計画のイメージ



「知の拠点」を支えるゾーン
 ・幹線道路に接する立地性を活かし、主に住宅・商業・業務関連の土地利用となることが望ましい。

《 知の継承エリア 》
 ・敷地内の貴重樹木の保存を図る。
 ・旧理学部1号館は広島市が保存・活用を検討する。

「知の拠点」の核となるゾーン

「知の拠点」を支えるゾーン
 ・周辺が住宅地で小学校が近いことを踏まえ、主に住宅・生活関連の土地利用となることが望ましい。

《 知の育成エリア 》
 ・(仮称)国際人材育成センターを広島大学東千田キャンパスに接した土地に設置し大学との連携を図る。

■ 道路の新設
 ・奥まった敷地の接道条件の向上及び南側からの公園へのアクセス性向上を図る。

ワーク・ライフ・バランスのまち

～未来に向けた都市づくり～

生涯を通じて仕事と家庭生活、地域活動や趣味、ボランティア活動などを、個人個人の価値観に応じて、バランスよく組み合わせること

雇用の促進・仕事と子育て
の両立支援

スポーツ・文化芸術の振興

医療・福祉の充実

環境施策の推進

教育の充実

災害に強いまちづくりの推進

平和への思いを共有するまち

～未来に向けた都市づくり～

平和都市としての取組

- 先人の築いた成果をしっかりと受け継ぎ、ヒロシマの願いである核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け積極的に取り組む
- これまで以上に市民やNGO等との連携を強化し、国内外から多くの人々に広島に来てもらい、平和への思いを共有してもらう

訪れた人々に平和への思いを
共有してもらうため、次の取組を推進

被爆者による証言活動に対する支援

被爆資料の収集・活用

平和記念施設の保存・整備 など

広島市の行財政改革

～行財政改革への取組み～

- 平成9年4月 広島市行財政改革推進本部(本部長:市長)を設置
- 第1次行財政改革(取組期間:平成9年度～平成11年度)
 - 平成9年11月 「広島市行財政改革大綱」を策定
 - 平成9年11月 「広島市財政健全化計画」(計画期間:平成10年度～平成15年度)を策定
- 第2次行財政改革(取組期間:平成12年度～平成15年度)
 - 平成12年2月 「第2次広島市行財政改革大綱」を策定
 - 平成12年2月 「広島市財政健全化計画」(計画期間:平成10年度～平成15年度)を改訂
- 平成15年11月 「広島市行政改革大綱」を策定
- 平成16年4月 「第2次財政健全化計画」(計画期間:平成16年度～平成19年度)を策定
- **平成20年2月 「今後の財政運営方針」(計画期間:平成20年度～平成23年度)を策定**
- 平成22年3月 「広島市行政改革大綱」を一部修正
- **平成23年9月 「中期財政収支見通し」を公表**

「今後の財政運営方針」の進捗状況 ～行財政改革への取組み～

「今後の財政運営方針」の基本姿勢

市民サービスの維持・向上に努めながら、将来世代に過度の負担を残さない
「持続可能な財政運営」の実現を目指す

計画期間

平成20年度から平成23年度まで

2つの目標

- 財源不足の解消と財政調整基金の確保
- 市債の実質残高の抑制

実質残高とは、

- 市債残高総額から
- ① 後年度の償還財源が地方交付税等により補てんされる臨時財政対策債などの特別な市債の残高
 - ② 将来の返済に備えて減債基金に積み立てている額
- を差し引いた額

平成22年度の実績(決算)

財源不足の解消と財政調整基金の確保

達成

区 分	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	計画	実績 (決算)	差引	計画	実績 (決算)	差引	計画	実績 (決算)	差引	計画	実績 (当初予算)	差引
財政収支	0	20	20	0	21	21	0	22	22	0	0	0
財政調整基金残高	66	110	44	50	102	52	50	143	93	50	56	6

市債の実質残高の抑制

達成

区 分	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	計画	実績 (決算)	差引	計画	実績 (決算)	差引	計画	実績 (決算)	差引	計画	実績 (当初予算)	差引
実質残高	7,534	7,378	▲ 156	7,455	7,245	▲ 210	7,360	7,150	▲ 210	7,252	7,245	▲ 7

行財政改革の推進

- 今本市が置かれている厳しい行財政状況と真剣に向き合うことなく、確実に政策の実現を図ることはできない



- これまでの事務事業について、聖域を設けることなく、その意義や効果をあらゆる角度から点検し、抜本的に見直し
- 中長期的な財政状況の見通しを立て、財政運営の方針の確立を図る

「中期財政収支見通し」

～行財政改革への取組み～

広島市財政の現状

市の活性化に向けて乗り越えるべき課題

- ・一般財源収入（市税・地方交付税等）の減少
- ・義務的な経費（社会保障費・公債費）の増加

財政収支見通し（平成24年度～平成27年度）

- ・4年間の累計で582億円の収支不足が生じる見込み

財政運営上の課題

- ・後年度の財政負担につながる事業のあり方を見直すことを通じて、収支構造そのものを変えていくことが重要
- ・今後見込まれる多額の収支不足を解消するためには、歳入・歳出の両面において、それぞれ適切な取組を行うことが必要

平成23年度当初予算

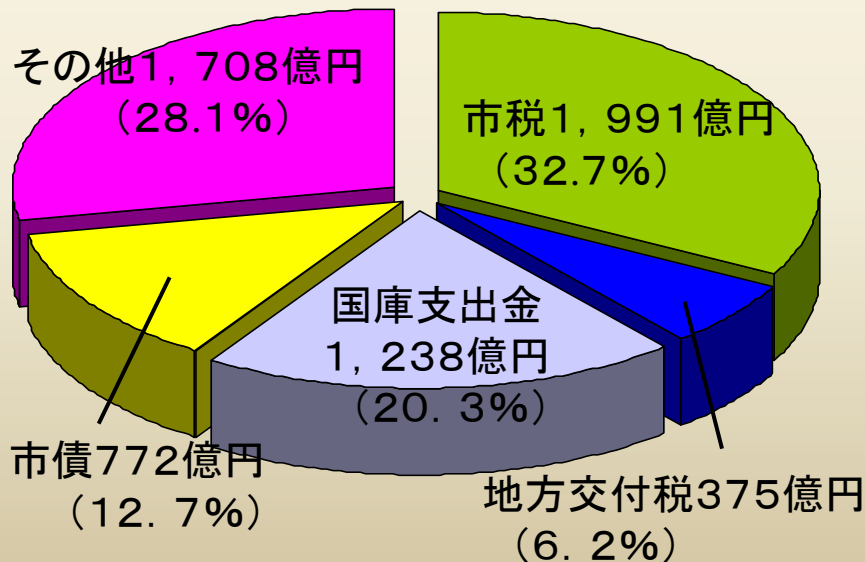
- 一般会計、特別会計、企業会計の全会計の予算規模は、1兆1,662億円で対前年度比1.6%の増で、2年連続の増加
- 一般会計の予算規模は、6,084億円で対前年度比2.8%の増で、7年連続の増加

全会計の予算規模1兆1,662億円

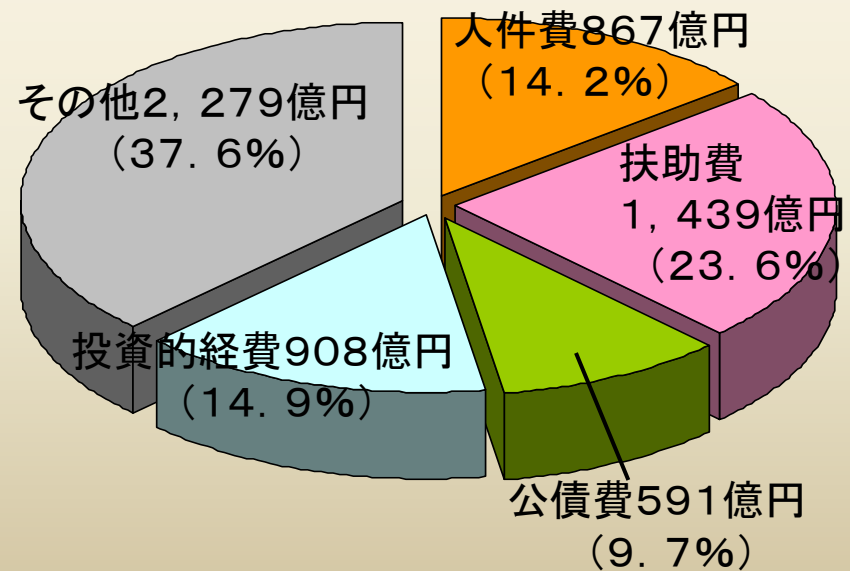
(単位：億円、%)

区分	平成23年度	平成22年度	差引	伸び率
一般会計	6,084	5,916	168	2.8
特別会計 (21会計)	3,649	3,627	22	0.6
企業会計 (3会計)	1,929	1,930	▲1	▲0.1
合計	11,662	11,473	189	1.6

一般会計歳入 6,084億円



一般会計歳出 6,084億円

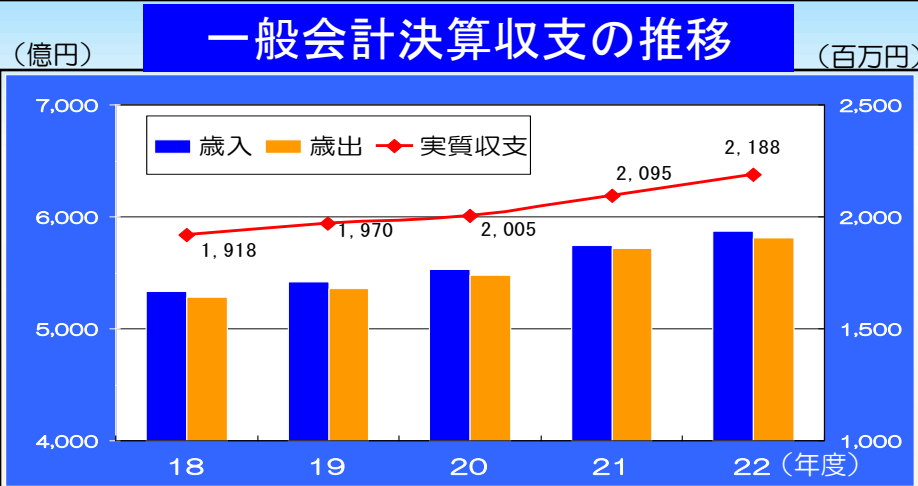


決算収支の推移と平成22年度決算 ~予算・決算等の状況~

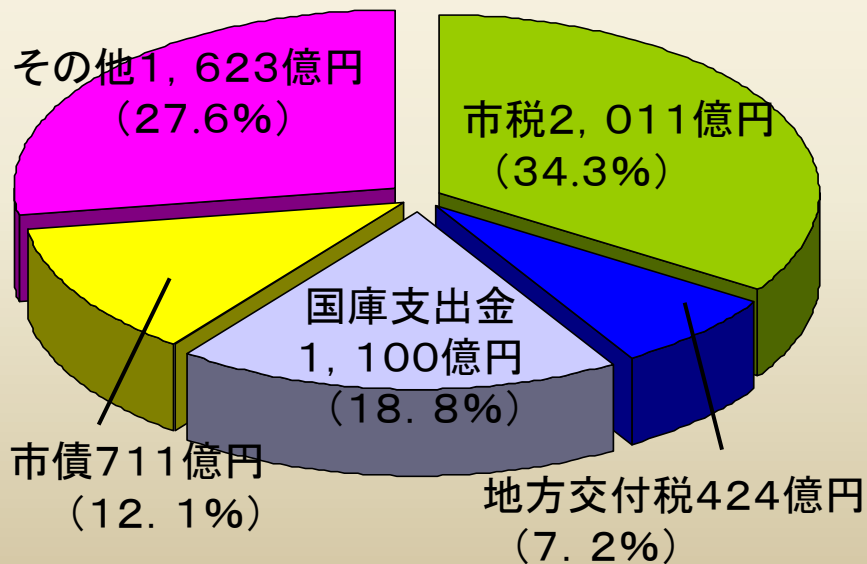
- 歳入歳出とも、平成18年度から5年連続で増加
実質収支は、平成15年度から8年連続で増加

※ 実質収支とは、形式収支（＝歳入総額－歳出総額）から翌年度に繰り越した事業に要する一般財源を差し引いたものです。

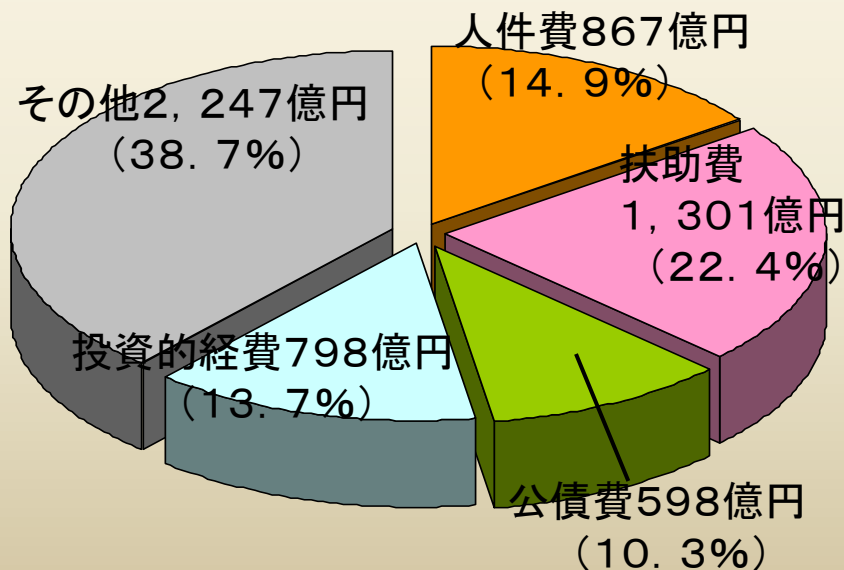
- 歳入では、市税が2年連続マイナス、市債が臨時財政対策債の増などにより前年度比14.1%の増
- 歳出では、公債費が前年度比17.0%の減、扶助費が前年度比18.1%の増



一般会計歳入 5,869億円

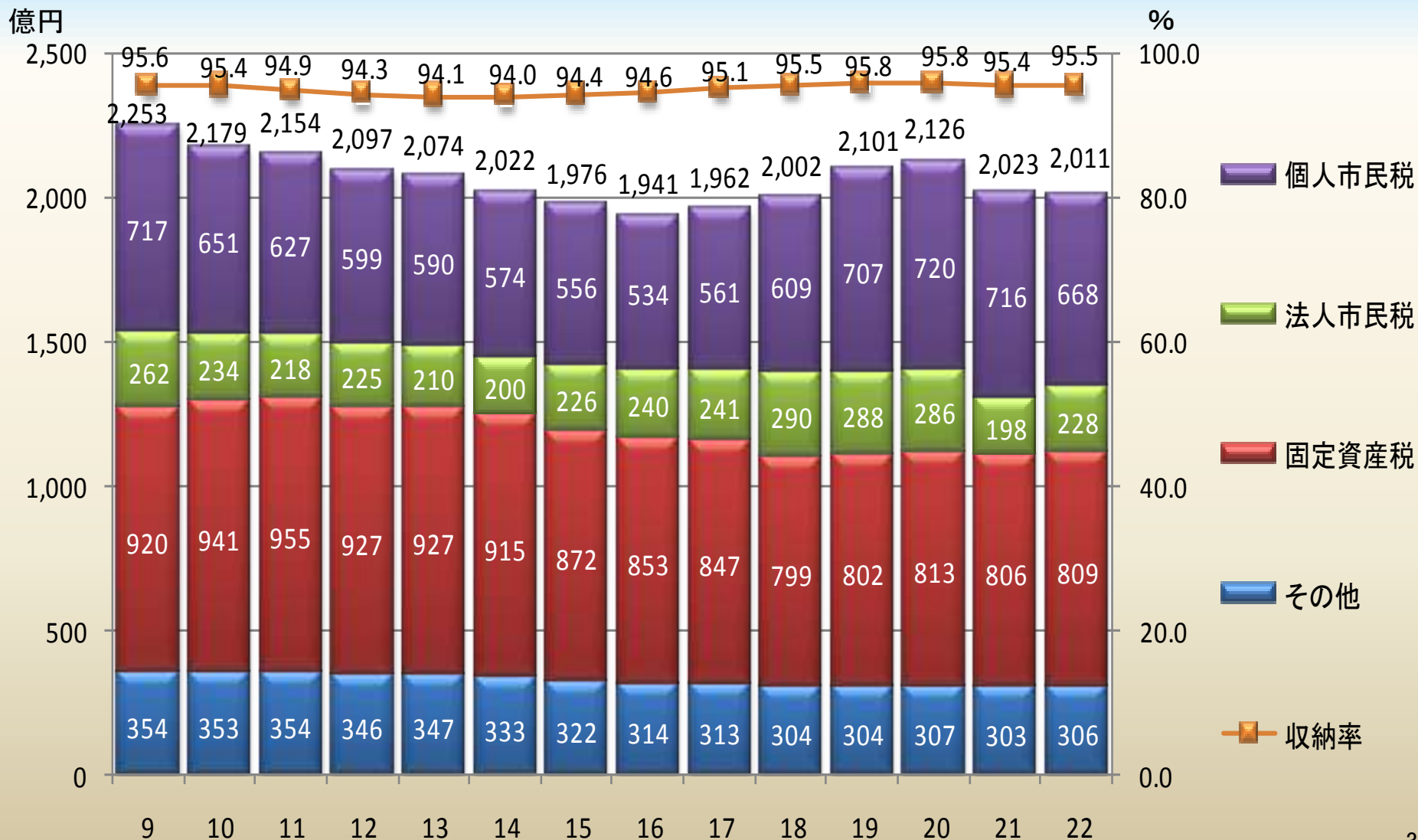


一般会計歳出 5,811億円



市税収入決算の推移

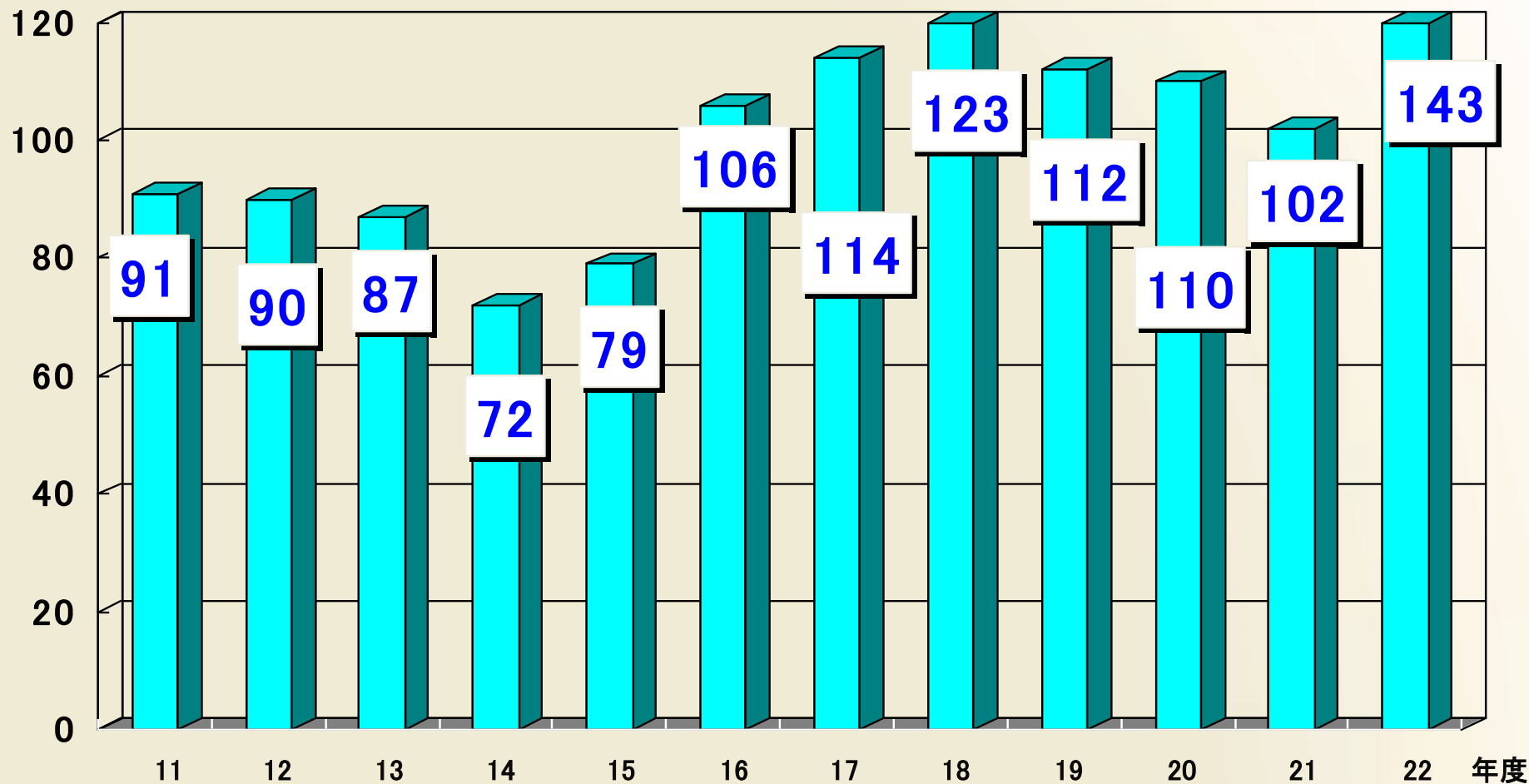
■ 個人市民税48億円の減 法人市民税30億円の増 固定資産税3億円の増 収納率0.1ポイント改善



財政調整基金残高の推移

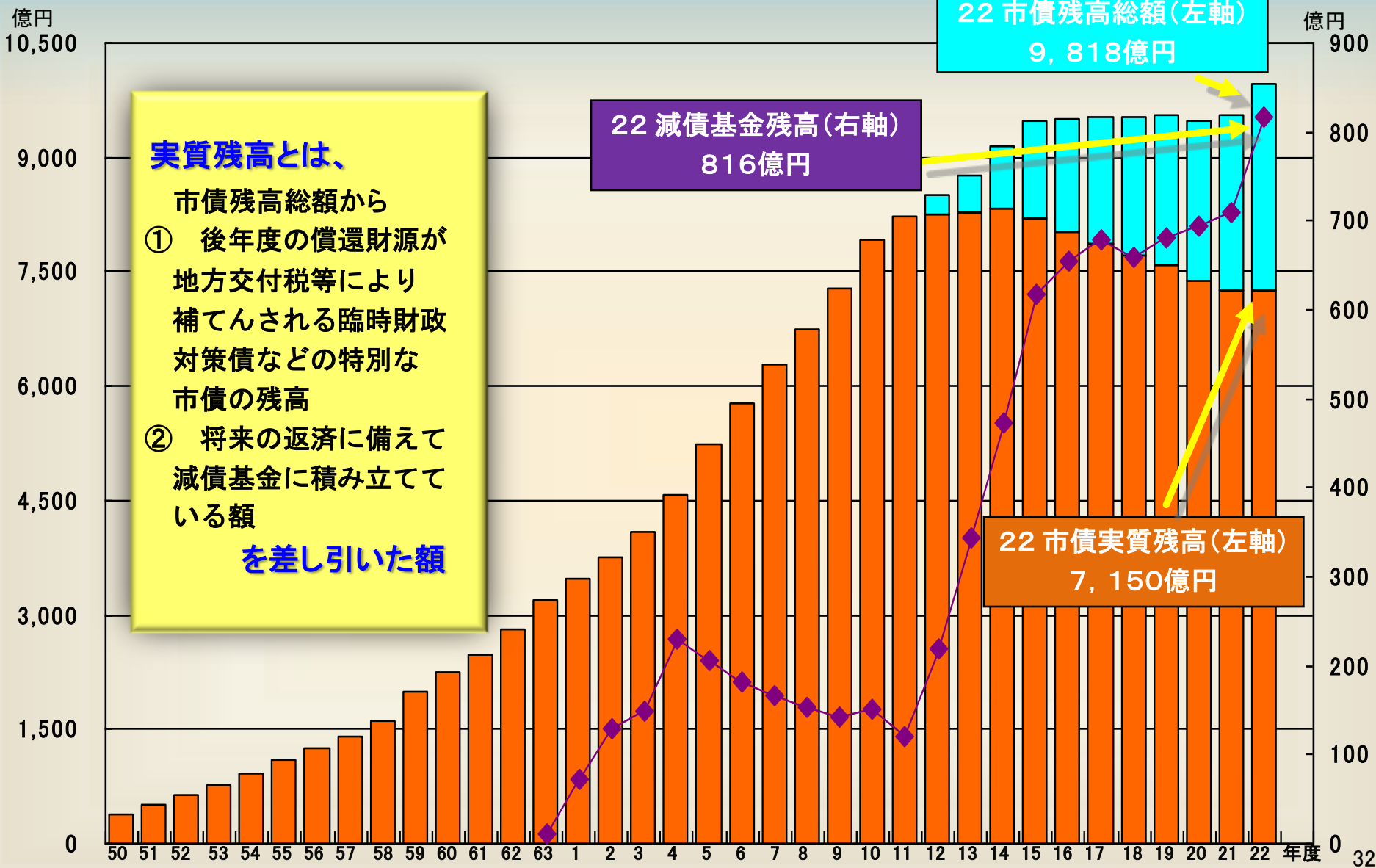
～予算・決算等の状況～

億円



一般会計市債残高の推移

～予算・決算等の状況～

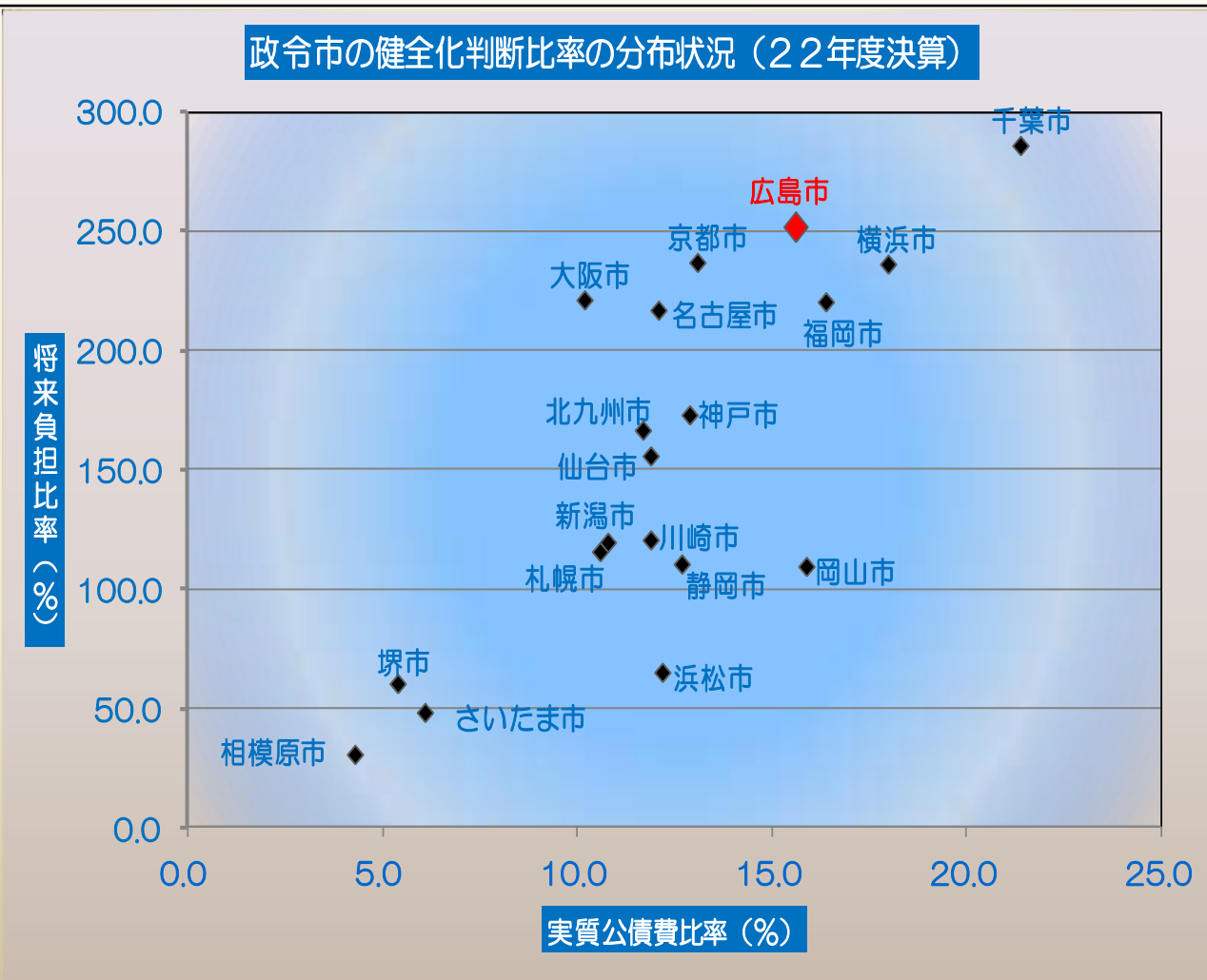


健全化判断比率の状況

～広島市の財政の現状分析～

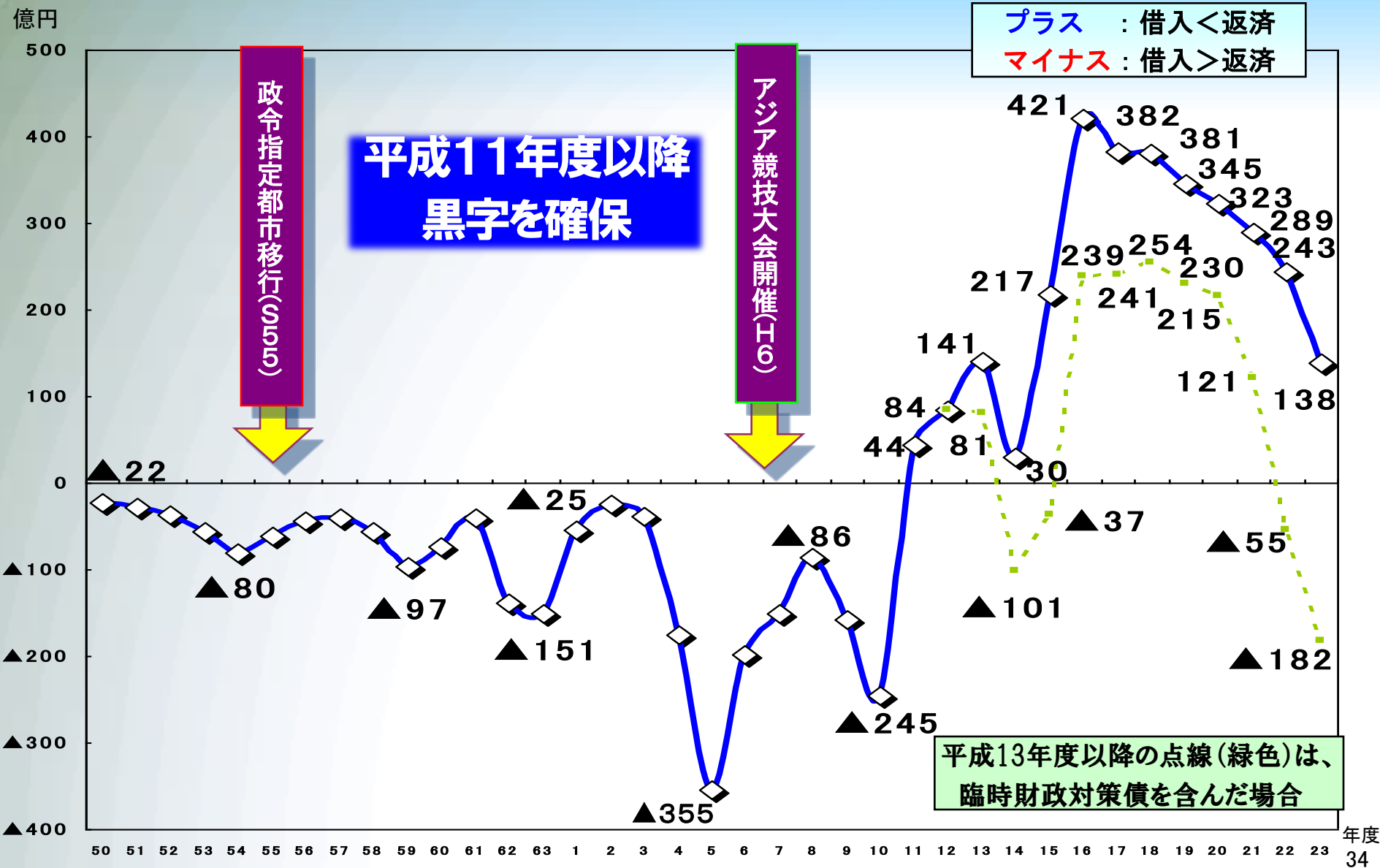
■ 実質公債費比率、将来負担比率とも基準値に達していない。

区分	広島市の状況	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)	11.25	20.00
連結実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)	16.25	35.00
実質公債費比率	15.6	25.0	35.0
将来負担比率	251.3	400.0	



プライマリーバランスの推移

～広島市の財政の現状分析～



広島市の財務書類4表

～広島市の財政の現状分析～

貸借対照表 (バランスシート) (平成23年3月31日現在)

資産の部				負債の部			
	普通会計	単体	連結		普通会計	単体	連結
公共資産	2兆5,590億円	3兆9,396億円	4兆2,456億円	固定負債	1兆32億円	1兆6,676億円	1兆8,004億円
				流動負債	966億円	1,646億円	2,343億円
投資等	3,441億円	2,526億円	1,491億円	負債合計	1兆998億円	1兆8,322億円	2兆347億円 (2兆279億円) [+68億円]
流動資産	298億円	770億円	890億円	純資産の部			
				普通会計	単体	連結	
資産合計	2兆9,329億円	4兆2,692億円	4兆4,837億円 (4兆4,816億円) [+21億円]	純資産合計	1兆8,331億円	2兆4,370億円	2兆4,490億円
				負債及び純資産合計	2兆9,329億円	4兆2,692億円	4兆4,837億円

左側に「資産」、右側に「負債」と「純資産」を対照表示したもので、年度末時点で、どのような資産をどのような財源で形成してきたかを表しています。

資産は、連結ベースで広島高速道路の建設によるインフラ資産の増等により21億円の増となっています。負債は、連結ベースで臨時財政対策債の増等により68億円の増となっています。

広島市の財務書類4表

～広島市の財政の現状分析～

行政コスト計算書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

項目	普通会計	単体	連結		
			22年度	21年度	比較
経常費用	4,108 億円	6,649 億円	7,773 億円	7,708 億円	+65 億円
人にかかるコスト	884 億円	1,214 億円	1,373 億円	1,363 億円	+10 億円
物にかかるコスト	852 億円	1,298 億円	1,373 億円	1,403 億円	△30 億円
移転支出的なコスト	2,191 億円	3,684 億円	4,533 億円	4,414 億円	+119 億円
その他のコスト	181 億円	453 億円	494 億円	528 億円	△34 億円
経常収益	217 億円	1,213 億円	1,388 億円	1,392 億円	△4 億円
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	3,891 億円	5,436 億円	6,385 億円	6,316 億円	+69 億円

1年間の行政活動のうち、資産形成以外の活動に要した経費と、その財源となる使用料や手数料等の収入の関係を表しています。

連結ベースの経常費用は、子ども手当の創設や生活保護費の増等に伴う移転支出的なコストの増等により65億円の増、経常収益は、競輪事業の車券売上収入の減等により4億円の減となっています。

広島市の財務書類4表

～広島市の財政の現状分析～

純資産変動計算書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

項目	普通会計	単体	連結
期首純資産残高	1兆8,632億円	2兆4,562億円	2兆4,537億円
財源の変動	△189億円	△30億円	△59億円
資産形成充当財源の変動	△112億円	△162億円	+12億円
その他の純資産の変動	-	-	0
当期変動額	△301億円	△192億円	△47億円
期末純資産残高	1兆8,331億円	2兆4,370億円	2兆4,490億円

バランスシートにおける純資産（国・県や、過去及び現世代が負担した将来返済が不要な財産）の1年間の増減を表しています。

資金収支計算書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

項目	普通会計	単体	連結
期首資金残高	150億円	392億円	537億円
経常的収支	470億円	997億円	1,065億円
資本的収支	△539億円	△721億円	△815億円
財務的収支	94億円	△208億円	△236億円
当期資金収支額	25億円	68億円	14億円
経費負担割合変更に伴う差額	-	-	0
期末資金残高	175億円	460億円	551億円

1年間の資金の増減を「経常的収支」、「資本的収支」、「財務的収支」の3つに区分して表示したもので、どのような活動に資金が必要であったかを表しています。

広島市の財務書類4表

～広島市の財政の現状分析～

市民1人あたりの状況

項 目		市民1人当たり数値				
		普通会計	単 体	連 結		
				22年度	21年度	比 較
貸借対照表	資産額	253万円	368万円	387万円	388万円	△1万円
	負債額	95万円	158万円	176万円	176万円	-
	純資産額	158万円	210万円	211万円	212万円	△1万円
行政コスト計算書	経常費用	35万円	57万円	67万円	67万円	-
	経常収益	2万円	10万円	12万円	12万円	-
	純経常費用	33万円	47万円	55万円	55万円	-

- 数値は平成23年3月31日現在の住民基本台帳人口(1,159,388人)を元に算出
- 市民1人当たりの負債額は連結で176万円であるが、そのうち95万円は、主に市税により返済される。差額81万円は、主に下水道(47万円)、広島高速道路公社(12万円)、水道(9万円)、病院(6万円)の負債であり、主に使用料収入等により返済される。

市債の紹介

～広島市債について～

市債とは

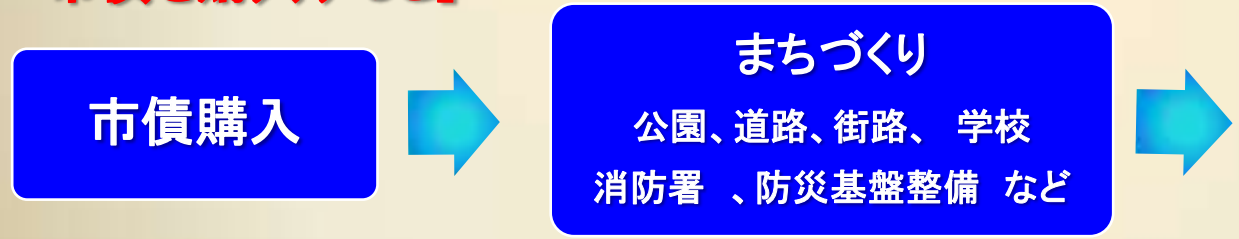
「市債の役割」

一時的に多額の出費を必要とする公共施設の建設などの財源確保を図り、その返済を元利償還という形で長期間分割することにより、財政負担を平準化し、世代間の負担の公平性を保つことができます。

「市債の用途」

国際平和文化都市にふさわしい都市基盤整備や市民生活に身近な公共施設整備などに活かされています。

「市債を購入すると」



安全確実な地方債

元利償還に対する国の財源保障	起債協議制度	減債基金を活用した計画的な負債管理	財政再建制度	BIS規制 リスクウエイト 0%	行財政改革の積極的な推進
----------------	--------	-------------------	--------	------------------------	--------------

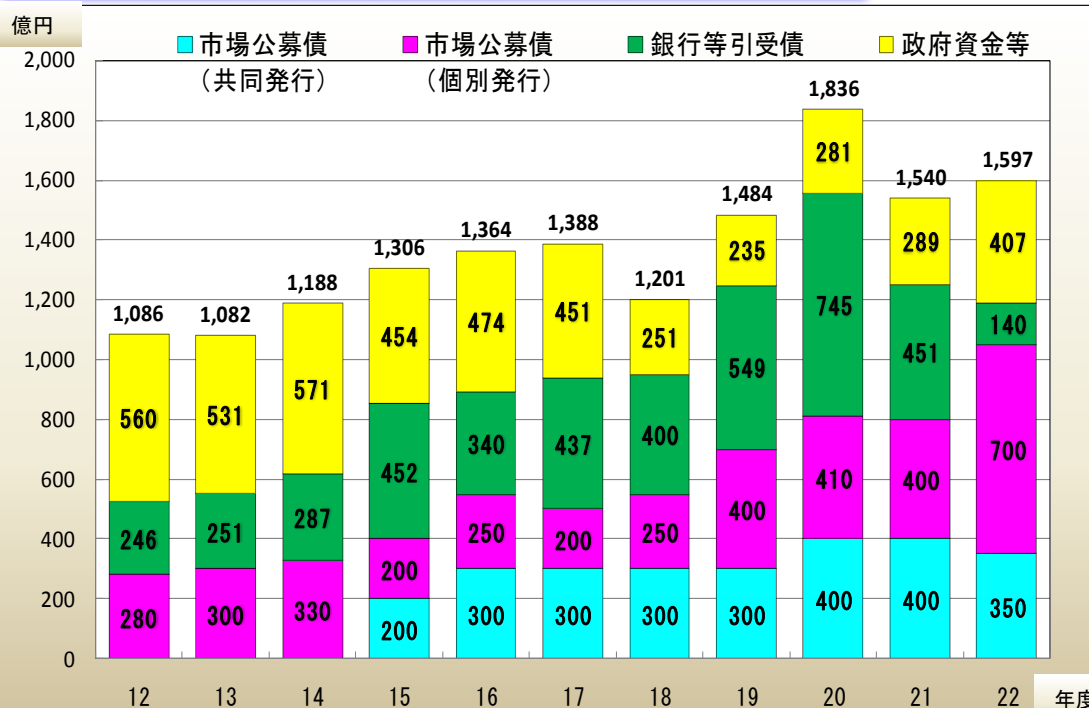
起債運営方針

資金調達の方針 ～政府資金等から民間資金へ～

「市場公募債の発行及び安定消化の継続」

- 全国型市場公募債(10年債)を昭和57年度から継続して発行、平成22年度から5年債も発行
- 共同発行市場公募債の発行に平成15年度から参加
- 流動性向上のため、年間を通じ発行を平準化、発行規模も増加
- 超長期債など年限の多様化も継続して検討

市債発行額の推移



市債の直近の発行実績

回数	年限	発行日	発行額	表面利率	応募者利回り
平成22年度第1回	10年	H22.10.26	100億円	0.93%	0.932%
平成22年度第2回	5年	H22.12.24	100億円	0.50%	0.504%
平成22年度第3回	10年	H22.12.24	100億円	1.23%	1.231%
平成22年度第4回	5年	H23.2.25	100億円	0.59%	0.594%
平成22年度第5回	10年	H23.2.25	100億円	1.29%	1.299%
平成22年度第6回	10年	H23.5.31	200億円	1.21%	1.217%
平成23年度第1回	5年	H23.9.26	100億円	0.34%	0.350%
平成23年度第2回	10年	H23.10.25	100億円	1.00%	1.006%

～広島市債について～

発行計画

平成23年度広島市債発行計画

※単位:億円、発行額は全会計ベース(借換債含む。)

市場公募債	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別発行	5年						100			100				200
	10年							100		100		100		300
共同発行	10年		60		60		70		70		70		70	400
合計		0	60	0	60	0	170	100	70	200	70	100	70	900

広島市債引受シンジケート団

5年債

銀行団		証券団	
金融機関名	シェア	金融機関名	シェア
広島銀行	19.5	S M B C 日興証券	11.0
みずほコーポレート銀行	13.5	野村證券	10.0
みずほ銀行	2.0	大和証券キャピタル・マーケット	10.0
三井住友銀行	2.0	みずほ証券	5.0
三菱東京UFJ銀行	1.5	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5.0
新生銀行	2.0	みずほインベスターズ証券	4.5
もみじ銀行	6.5	岡三証券	2.0
広島信用金庫	3.0	東洋証券	1.5
—	—	丸三証券	1.0
計[8]	50.0	計[9]	50.0

10年債

銀行団		証券団	
金融機関名	シェア	金融機関名	シェア
広島銀行	19.0	S M B C 日興証券	11.0
みずほコーポレート銀行	13.5	野村證券	10.0
みずほ銀行	2.0	大和証券キャピタル・マーケット	10.0
三井住友銀行	2.0	みずほ証券	5.0
三菱東京UFJ銀行	1.5	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5.0
新生銀行	2.0	みずほインベスターズ証券	4.5
住友信託銀行	0.5	岡三証券	2.0
もみじ銀行	6.5	東洋証券	1.5
広島信用金庫	3.0	丸三証券	1.0
計[9]	50.0	計[9]	50.0

- 借入予定総額は1,528億円
うち民間資金借入予定額は1,071億円
(全体の70.1%)
- 市場公募債の発行予定総額は900億円
(全体の58.9%)
うち広島市個別発行分は500億円
(全体の32.7%)
- 銀行等引受債の発行予定額は171億円
(全体の11.2%)

【本資料に関するお問い合わせ先】

広島市財政局財政課資金係

TEL 082-504-2074

FAX 082-504-2099

E-mail zaisei@city.hiroshima.jp

ホームページ

広島市ホーム → 市政全般 → 広島市の概要

→ 市の仕事と組織 → 組織 → 財政局

→ 市債・投資家情報